

はばたき

厚木市立睦合中学校学校だより
平成30年7月19日発行
NO. 299

「銀の匙」・動物と共に生きること

教頭 新井 伸

生徒に「動物園は必要か」と問いかけたことがあります。「アフリカに行かなくてもキリンやライオンが見られる」「北極にいかなくても白くまに会える」「動物園の動物はいつもえさにありつけて幸せだ」といった肯定的な意見が大半でした。一理あり、しかし違った視点で考えることも大事です。

人間は身勝手な生き物でほぼ自分のことを中心に考えています。北極周辺で生息している白くまを東京につれて来て白くまの池に大きい氷を入れ「白くまくも気持ちがよさそうです」などのように夏に放映するテレビ局があります。自宅でクーラーをつけながらこの映像を見る人もたくさんいるでしょう。

70数年前の戦争の際にたくさんの動物園の動物が飼育員によって毒入りの餌を与えられて死んでいった事実があることを今の子どもたちは知っているのでしょうか。人間のエゴのために犠牲になった動物がいたことです。大災害があれば今日にでも同じことが繰り返されます。

ペットや動物が人間に与えてくれる恩恵は計り知れません。しかし、ペットや動物と上手に付き合っていくには社会全体に成熟した文化や仕組みが必要なのだと痛感しています。

犬に関して言えば、ブリーダーなどによる過剰繁殖によるペットの殺処分が少なからずあることはあまり語られていません。人気の犬種を増やすための近親繁殖による奇形や売れ残って“商業価値”の無くなったペットを経済的理由で殺処分する事実があることもあまり語られていません。

何年か前に大阪の小学校で自分たちの学校でブタを飼って最後は食べるという授業を当時の6年の担任の先生が提案し実行しました。生徒は自分たちで考え小屋を建て、餌をやり・・・妻夫木聡が先生役で「豚がいた教室」という題名で映画化もされました。見た人もいないのでしょうか。でも現代に生きる小学生にはあまりにも残酷すぎて、教育的価値よりも精神的なショックやトラウマの方が心配でした。「命の長さって誰が決めるの」「ただ殺すのと食べるのは違う」といった印象的な言葉が心に残っています。

私たちは自分が生きるために他の生き物の命を頂きながら日々生活しています。自分が子供のころ、我が家の周辺では家畜を飼っている家がたくさんありました。牛、豚、鶏、やぎ、これらを皆食用（肉、乳、卵）として飼っていました。それが厳然とした事実として生活の中にありました。肉は精肉店で購入していました。精肉店の奥の冷蔵庫には塊の肉がつるしてありました。子ども心にも動物の原型に近い肉がつるされているのを見ていると想像をめぐらせました。今はスーパーで魚も肉も切り身でしか見たことがない人がほとんどだと思います。食べ物は命なんだといった実感がわかないのも無理はないかと思います。

（参考 映画「ある精肉店のはなし」 「銀の匙」荒川弘）

ハンバーガーを一つ食べることは「牛の命を一頭頂くことです」感謝して食べましょう。そして「いただきます」と「ご馳走様」の大切さを感じて、自分の命に代えたいと思います。

「部活動壮行会の先に見えるもの」

部活動担当 小菅俊寿

部活動壮行会が6月27日（水）に開催されました。各部が、総合体育大会や各種コンクールに向けて決意表明を行いました。決意表明では、今までの練習の成果を発揮したい、みんなと少しでも長く暑い夏にしたい。というものが多く、今までの努力を感じることができました。また、壮行会の最後には、すべての部活動の健闘を祈って、体育大会を盛り上げてくれた各色の団長による睦中エールも行いました。

当日は、例年になく、多くの保護者の皆様にご参観いただき、ありがとうございました。子どもたちも励みになったと思います。今後とも部活動へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



どの部も頑張れ！ 記録より記憶

～6月27日に行われたものです～



「今を生きろ！」

生徒指導担当 中川 樺

「今楽しければよい。今を思いっきり楽しもう！」という意味だと考えた皆さん、それは全く違います。この言葉の意味は、①「この先何があるかわからない。どんな人生になってもいいように、後悔しない生き方をしよう。」②「どんな人生が待ち受けているかわからない。だから、どんなことにでも対応できるように今のうちに色々なことを身につけておこう！」というのが正解だそうです。毎日遊んでいるだけでは、その場は楽しいけれど、何も身につけません。逆に、今から色々なことを身につけておけば、選択肢が広がり可能性の幅が広がります。

今、皆さんの目の前にあるのは何でしょうか。やることは山積みだと思いますが、目の前にある課題を山に例えるならば、どんな山も一步一步のぼっていけば、いつかは頂上に着くものです。そして歩いてきた道のりを振り返った時に、自分の成長を感じることができるのです。一歩進むことができるかできないかが勝負の分かれ目になります。まずは一歩足を出して頑張ってください。

また、夏休みは開放的な気分から、事件・事故が多発します。休みの日は普段自動車にのらないドライバーも運転するため交通事故が多いそうです。自分がルールを守っていても、巻き込まれる可能性もあります。逆にルールを守っている人を巻き込んでしまうこともあります。自転車で出かける際は注意してください！

最後になりますが、2学期の始業式で、誰ひとり大きな怪我や病気でなく、睦合中学校の生徒全員が、笑顔で顔を合わせられることを願っています。